

熱戦が繰り広げられる

広野町野球スポーツ少年団20周年記念野球大会が9月19日・20日の2日間で開催され、少年野球選手が熱戦を繰り広げました。郡内をはじめ、仙台市や北茨城市、いわき市から計14チームが出場しました。決勝では双葉町スポーツ少年野球クラブが勿来少年野球教室を1対0で破り優勝しました。

広野町野球少年スポーツ少年団は第3位でした。各試合ごと白熱したプレーが展開され、保護者らの声援が響きわたっていました。



▲入場行進をする広野町野球少年スポーツ少年団

惜しくも初戦敗退

市町村対抗福島県軟式野球大会が9月24日、県営あづま球場で行われました。広野町は初戦で小野町と対戦。時折、ランナーを出し猛攻を仕掛けるも1点が遠く、0対1の惜敗でした。



▶広野町選手団

元気で明るい毎日を

広野町敬老会は9月28日、広野町中央体育館で開かれ、皆さんの健康と長寿を祝いました。式では、結婚50周年を迎えられた方々を代表して菅野末吉さん、タカ子さん夫婦に表彰状と記念品が贈呈されました。

続いて、金澤長広野町社会福祉協議会長と大和田高男老人クラブ会長より町内最高齢者横尾しもさん（99歳 上浅見川）に記念品が贈られました。

余興では、岬花江とかもめパン工房の仲間たちによる「岬花江歌謡ショー」が行われ楽しいひと時をすごしました。

国道6号線の清掃ボランティア



▶ごみ拾いに汗を流す参加者

「みんなでやっぺきれいな6国」が9月19日、相双地区の国道6号線沿いで開かれ、町内から中学生を中心に約140人が参加しました。

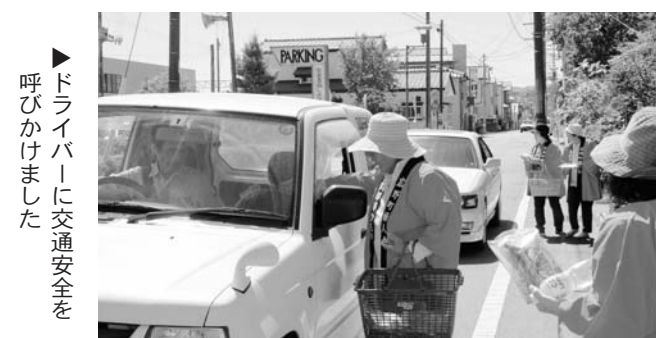
広野町から新地町までの6号国道沿いを一斉清掃。参加者は歩道に捨てられた紙くずや空き缶、ペットボトルなどを拾い集めていました。

参加者はおそろいのオレンジ色のシャツを着てきれいな地域づくりに汗を流しました。

マナーを守って交通安全

秋の交通安全運動にあわせ正しい交通マナーを呼びかけようと9月25日、パレードが行われました。パレードには各種団体から約300人が参加し、町内約1キロを歩きました。

パレード終了後にはキャンペーンも行われドライバーに安全運転を呼びかけました。



▶ドライバーに交通安全を呼びかけました



◀代表の菅野さん夫婦

法務大臣より委嘱状

新妻富美子さんと根本賢仁さんに10月1日付けで法務大臣より人権擁護委員の委嘱状交付が行われました。

人権擁護委員は法務局における人権相談所を開設し、皆さんから人権相談に応じています。

また、小学校における「人権の花運動」、児童館における「子ども映画会」なども行っています。



▲根本 賢仁さん



▲新妻富美子さん

世界の舞台で活躍誓う

JFA アカデミー福島 幸野 志有人選手がU-17ワールドカップナイジェリア大会の日本代表に選出されました。幸野選手は10月9日に町長のもとを訪れ、大会に向けての決意を述べました。



▲活躍が期待される幸野選手

郷土の誇りを胸に

第47回双葉郡総合体育大会が10月11日に開催されました。広野町は郡内8町村中6位の成績でした。種目別では、家庭婦人バレーボールが優勝。男子バレーボールが2位でした。大会にあわせ双葉郡体育協会の表彰も行われ、スポーツ功労賞に広野町体育協会バレーボール部長の大和田敏光さん、優秀選手賞に広野町体育協会男子バレーボール部が選ばれ表彰を受けました。おめでとうございます。



▲広野町選手団の皆さん

元気いっぱい笑顔で運動会

広野町保育所で運動会が10月3日に開催されました。子どもたちはかけっこやお遊戯で練習の成果を応援にきた家族の前で披露しました。また、親子競技なども行われ、楽しそうに競技する子どもたちに会場は終始笑顔に包まれました。



▲元気いっぱいのかけっこ(保育所)

秋 晴れの空の下

広野幼稚園の運動会が10月10日に行われ園児が元気に参加しました。

「What's animal?」と題し、英語で読み上げられた動物のカードを探しあてる競技が登場。英語教育が活かされたものとなりました。日ごろから英語にふれている園児には簡単なようで、英語を聞き取り、すばやくカードを探しあてていました。



◀幼稚園運動会の様子

ふるさと納税
(匿名 1,000,000円)

町づくりにお役立ていただきたいということで寄付をいただきました。ご厚意ありがとうございます。